

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

本競技会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則、日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に準じて行います。フライングルールについては、小学生は1人2回で失格とします。また、スタート合図は英語で行います。

2. 練習

練習は8時15分まで全面使用できます。その後は南部記念ポール側及び周回競技時を除くバックストレートとします。

3. 招集点呼

(1) 招集点呼場所は、スタート地点及び各競技場所で行います。

(2) 招集時刻は競技開始時刻を基準とし、トラック競技は競技開始20分前から開始し、10分前に完了します。フィールド競技は競技開始30分前から開始し、15分前に完了します。

(3) 出場者本人が招集時間に招集所で点呼を受け、アスリートビブスの確認を受けてください。

(4) 招集完了時刻に遅れた者は、その競技を棄権したものと見なされます。2種目に出場する者で、点呼時間が重なる場合は、早めに点呼を行うことができます。

4. 競技場への入退場

※競技者と引率者（各家庭1名）は第1ゲートから入場となります。競技役員及び事前に申請のあったコーチは正面入り口から入り、競技役員受付において受付をし、プレートをつけてください。

(1) 競技場への入場は第1ゲート（100mスタート地点）のみとなります。競技場所への移動は係役員の指示に従うこと。競技者、競技役員、事前に申告のあったコーチ及び引率保護者（各家庭1名のみ）以外の競技場への立ち入りは認めません。引率保護者は競技会観戦入場票の提出が必要です。

(2) 選手はメインスタンド前を通行できません。競技終了後、トラック競技は第2ゲート（フィニッシュ地点側）またはスタンド通路を通り退場します。フィールド競技は担当審判員の指示に従い退場します。

5. アスリートビブス

(1) 選手はアスリートビブスを背と胸にきちんと取り付けてください。

(2) トラック種目及びリレーの最終走者は右腰やや後ろに腰ナンバーカードを付けます。腰ナンバーカードは各自又は各チームで用意してください。但し、800m以上の腰ナンバーは競技者係で貸出します。使用後は借りた場所に必ず返却してください。

6. 走路順、試技順序

(1) レーン順、試技順はプログラムに記載の順とします。

(2) トラック競技で棄権者のある時は、そのレーンをあけたままとします。

(3) 短距離走のフィニッシュ後は自分のレーン（曲走路）にそって走り終わってください。

7. 競技について

(1) トラック競技はすべてタイムレースによる決勝とします。着差なしの同タイム者が多い場合には同順位とします。

(2) リレーのオーダー用紙は1組目の招集開始時刻1時間前までに競技者係に提出してください。
（用紙は招集点呼場所の競技者係からもらってください）

(3) フィールド競技の試技は3回とし、ベスト8による決勝は行いません。

(4) 80mHはスタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからゴールまで11m。高さ70cm、9台とします。

(5) トラック競技とフィールド競技に複数出場している場合は、競技開始前に必ず申し出てください。また、トラック競技が優先となります。競技者が与えられた試技順に不在の時、その試技時間が過ぎるとパス扱いになります。

8. 競技用具

用器具はすべて主催者側で用意したものを使用します。

9. 競技用靴

スパイクピンの長さは9mm以下とします。

10. 表彰

- 1位～3位までの入賞者にメダルと賞状を、4位～8位までの入賞者に賞状を、小学5・6年男女リレー優勝チームには川崎杯カップ（持ち回り）を授与します。 ※表彰式は行いません。
- 1位～3位までの入賞者は競技結果発表後20分程度を目安に玄関ホール内でメダルと賞状をライオンズクラブの方から受け取ってください。4位～8位の入賞者は、玄関ホール外の棚から各自持ち帰ってください。なお、玄関ホール外には1位～3位までの表彰台を設置しますので、写真撮影等に使用してください。
- 男女各1名に最優秀選手賞を授与します。（全競技終了後）

11. その他

- (1) 貴重品の管理は自分でしっかり行ってください。
- (2) 準備運動をきちんとし、けがのないよう気をつけて競技にのぞんでください。
- (3) スタート前は静かにしてください。
- (4) スタンドでは座って観戦願います。特に、最前列の手すりの前に立つと、後ろの観客の妨げになりますので絶対にやめてください。
- (5) 自分たちの使用した場所や周辺の後始末等は自分たちの責任できちんとするようにしてください。
- (6) ゴミは各自で持ち帰ってください。

12. 新型コロナウイルス感染拡大予防について

- (1) 参加者（競技者・競技役員・コーチ）は、所定の体調管理チェックシートを主催者に提出すること。（1週間前から記入）**体調管理チェックシートの提出忘れ、記入漏れの場合は入場を認めない。**
- (2) 各団体代表者は所属選手の健康状態の把握に努め、異常がある場合は直ちに対応し、主催者に報告すること。（主催者の指定する待機場所を利用すること）
- (3) 体調がよくない場合は自主的に参加を見合わせること。
- (4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は自主的に参加を見合わせること。
- (5) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触者がある場合は自主的に参加を見合わせること。
- (6) マスクを持参すること。（運動時以外はマスクを着用すること）
- (7) こまめな手洗いや洗顔を実施すること。（主催者が石けんを設置する）
- (8) 用具（スタブロー、砲丸、バトンなど）使用後は手洗いをすること。
- (9) ウォーミングアップは個別に行うこと。
- (10) 運動中、痰やつばを吐くことは極力行わないこと。
- (11) 体液の付着したゴミは持ち帰ること。
- (12) 全場面において、他の参加者、競技役員等との距離をできるだけ確保すること。
- (13) 大きな声での会話、応援をしないこと。
- (14) 各団体は待機スペースの広さにゆとりを持たせるように努め、できるかぎり密を避けること。
- (15) テントを利用する団体は、密閉状態にならないように留意し、換気に配慮すること。
- (16) タオルの共用はしないこと。
- (17) 飲食については周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、会話は控えめにすること。
- (18) ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (19) 団体代表者は、選手が競技場に滞在する時間が短くなるように配慮すること。
- (20) 選手は、団体代表者の指示に従い、自らの競技時間に合わせて来場し、終了後は速やかに帰宅するように努めること。
- (21) 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (22) 感染予防のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (23) 上記22項目について、団体代表者は、全参加者（保護者）に必ず内容を知らせ、遵守するように指導すること。